

「褐色ダウンナー男の娘メイドの嫌々性処理ご奉仕

2. 一章 プロローグ

3. (コンコン)

4. 失礼します、今日からあなたの性処理係に任命された、メイドのルイです
5. 本日から、毎晩僕があなたの下の世話を致します
6. 一応言っておきますが、この性処理行為に恋愛的感情は一切ありませんから
7. あなたのお父様、つまり僕のご主人様にどうしてもお願いされたので、しかたなく僕が不潔なあなたの下の世話をします、
8. どうせ、あなたがご主人様に僕を性処理係に任命するようお願いしたのでしょう
9. 一つ、疑問なんですが何故僕を性処理係に任命したのですか
10. うちの館には、可愛くて綺麗な女の子のメイドなんてたくさんいるでしょう
11. よりにもよって、何故男の子の僕に性処理を・・・
12. は・・・？男の子だからいい・・・？
13. 凄いですね、一言だけでこんなに鳥肌を立たせるなんて、ある意味才能ですよ
14. 同じ男である僕に性処理をされたいなんて、一ミリも理解できません
15. 少なくとも、僕は男のあなたに性処理をしたいとは一ミリも思っていませんから、
16. 男のチンポに奉仕するなんて考えただけでも気持ち悪い・・・
17. これから、毎晩行うあなたへの性処理は、ご主人様の命令により行われる、普段のメイドの業務と変わらない事務的な仕事として処理するので、あなたを射精させたらすぐ通常の仕事に戻りますから
18. なぜって、まさか気付いていないんですか？あなたの事が嫌いだからです
19. 僕だけじゃありませんよ、この屋敷のメイドは全員あなたの事が大嫌いです
20. まさか気付いてなかったなんて、幸せな人ですね
21. あなたのお父様は、皆、尊敬しています、使用人である僕たちにも平等に優しくしてくださって、本当の家族のように扱ってくださっている・・・
22. 身寄りのなかった、孤児院にいた僕を使用人として働かせてくれた、恩は一生忘れません
23. あの方の命令であれば、僕はどんな命令も絶対服従致します
24. ですが、息子のあなたは違う、不潔で、変態で、何よりメイドを見るあなたのいやらしい目、メイドを性のはけぐちとしか考えていない本当に最低な男・・・
25. 本当だったら、あなたの下の世話なんてしんでもごめんなのですが、これはご主人様の命令、ご主人様の為にああなたの性処理係をしますのです、あなたに一切の他意はないのでそのつもりで
26. それでは、あなたに費やす時間ももったいないので、さっさと性処理を始めてしまいます

27.

28.

29. 一章 嫌々オチンポ手コキ 耳なめ 顔で受け止める
30. ぼくは業務に早く戻りたいので、あなたはさっさと射精してくださいね
31. あなたの不潔なパンツを脱がして・・・
32. うわ、これがあなたのチンポですか・・・あなたの性格に似たいやらしいチンポですね気持ち悪い
33. それに、うっ凄い匂い・・・ちゃんとお風呂に入ってるんですか？こんな臭くて気持ち悪いチンポをこれから性処理しないといけないなんて、今までのどの業務よりも最悪です、なんでぼくが・・・
34. こんなチンポに直接触りたくないのに、手袋をしますね、変な病氣にかかったら、仕事に影響が出るので
35. はあ、あなたのチンポ匂いを嗅いでるだけで体調が悪くなりそうなので、性処理の方さくっと始めてしまいますね
36. まずはあなたのチンポを勃起状態にする為に、耳を舐めます、男のあなたの身体を直接舐めるなんて抵抗はありますが、さっさと射精させるため・・・多少は我慢しましょう
37. (右耳)
38. じゅるちゅりゅずりゅずりゅじゅりゅじゅりゅ
39. ぷはっ、身体がびくびくしてますよ、男の僕に耳舐められただけで感るなんて、どこまで変態なんですか、気持ち悪い
40. じゅるちゅじゅるちゅるじゅるじゅるじゅる
41. うえ・・・耳垢がたくさん・・・人に耳を舐めさせるなら、ちゃんと掃除しておいてくださいよ、それとも僕に耳垢を舐めとらせるためにわざと掃除しなかったんですか？本当に屑ですね・・・
42. じゅるちゅるじゅるじゅるちゅるじゅるちゅるじゅるじゅぞぞぞ
43. ぷはあ、はーはー片耳を舐めただけなのに、チンポ硬くして、男に耳舐められて感じるなんて、変態なこと自覚してくださいよ
44. じゃあ勃起したみたいなので、さっさとシゴいて終わらせませうね
45. は・・・？左耳も舐めろ？また耳垢だらけのあなたの耳を舐めたら吐いてしまいそうなんです
46. まあ・・・命令ならばメイドのぼくは聞くしかないので、僕が逆らえないことをいいことに調子にならないで下さいよ
47. (左耳)
48. じゅるちゅるじゅるちゅるじゅるちゅるじゅる
49. 想像してた通り、反対の耳も耳垢がびっしりですね、気持ち悪い
50. じゅるちゅるじゅるちゅるじゅるちゅるじゅる
51. はあ・・・もう気持ち悪くなってきたので耳舐めるのやめていいですか？
52. え、最後は耳奥まで綺麗になめとれ？く・・・本当に悪趣味ですね、あなたがご主人様の

息子じゃなかったら、唾を吐きかけてやるところでしたよ

53. じゅるちゅじゅるじゅるちゅるじゅるじゅるじゅぞぞ

54. んぐっけホッケホツ、はぁ本当に舐めてて不快になる耳でした

55. もう、満足ですね、勃起してるあなたの汚いチンポにローション塗ってサクツと終わりにさせます

56. (ローションをかける音)

57. あなたのチンポがヌルヌルローションでてかっていて気持ち悪い

58. 手袋をしていても触るのを躊躇われるほど、醜悪で醜いチンポ・・・

59. ご主人様の命令でなければ、見るだけでも嫌なのですが、しょうがない

60. さっさと手でしごいて終わりにしましょう

61. んっ熱い・・・手袋越しからでもあなたのチンポの熱さが伝わってくる

62. 男の僕にチンポを触られて、興奮するなんて本当に頭がどうかしてるんですね可哀想に

63. (手コキ音)

64. 悪いですが、僕はあなたを射精する為だけの機械の様なもので、焦らしも何もなくさっさとイかせちゃいますから

65. ちょっと手でしごいただけで、鬼頭から我慢汁が・・・こらえしような無いクソチンポですね、この手袋は廃棄処分決定です、あーあ

66. 手コキの速度はあなたがイキソウになっても緩めないので、こんなチンポ触ってるだけでも不快なので、さっさとイッて下さい

67. あぁ、イキソウになったら教えてくださいね、万が一あなたの精子が僕にかかったりでもしたら、最悪ですから

68. なかなかイかないですね、さっさとイッてくれませんか？あなたの相手に時間を浪費してる暇はないんです

69. は？乳首を舐めながら手コキしろ？

70. くそ・・・僕が断れないのをいいことに、調子に乗って・・・

71. 男の僕に乳首を舐めろなんて、どこまで変態なんだ・・・

72. じゅるちゅるじゅるちゅるじゅるちゅう

73. 男の乳首を舐めながらチンポをしごくなんて、僕まで変態になってしまったみたいだクソ

74. じゅるちゅるじゅるちゅるじゅるちゅる

75. チンポが膨張してきましたね、もうイきそうなんです

76. チンポをしごく右手も疲れてきたんで、もうイってください

77. は？ザーメンを僕の顔で受け止める？

78. あなた何を言って・・・あなたの汚いザーメンを僕の顔で受け止めるなんてそんなこと・・・

79. ち・・・わかってますよ・・・僕はメイドだからあなたの命令には逆らえない
80. ほらお望みどおり、僕の顔の目の前でチンポシコシコしてますからさっさとイってくだ
さい
81. な・・・そんな言葉いえるわけないでしょ・・・
82. く・・・わかりました・・・
83. あなたの特濃ザーメンを僕の顔にぶっかけてください、はいこれいいですか
84. え？もっと感情を込めて・・・？く・・・いい加減に・・・っ・・・わかりましたよ・・・
85. あなたの特濃ザーメンを僕の顔にぶっかけてください
86. はい、これで満足ですか
87. こんな無理やり言わせて、興奮するなんて悲しい人です
88. ああやっとなあなたのチンポイきそうですね、ほらさっさとイってください
89. こんなあなたのチンポをしごいている暇はないんです
90. ほらいケ、イケ、あなたの望み通り僕の顔に射精してしまえ、変態
91. んっ、くっ・・・やっとな射精しましたか、なんですか？その満足げな顔は自分のザーメ
ンで僕の顔をぐちゃぐちゃにできて嬉しいんですか？
92. 断れない相手に無理やり性処理させて満足なんて、むなしくならんんですか？あな
たは
93. ゲホゲホ、あなたのザーメンひどい匂いですよ、腐った生ゴミの様な匂いです・・・
94. こんなものを顔に浴びせられてとても不快な気分です、熱くて、生臭くて、気持ち悪い
95. あなたのことは元々嫌いでしたが、今回の件で大嫌いになりました
96. それでは、射精も終わった様なので僕は業務に戻ります
97. は？風呂に入らず、そのまま業務に戻れ？いい性格してますねあなた
98. 明日の夜までにあなたに何かあって、明日の性処理が無くなることを祈っていますよ
- 99.
- 100.

101. 二章

102. (コンコン)

103. 失礼します、昨日に引き続き僕があなたの性処理をさせて頂きます

104. 昨日同様、事務的にさくっと射精させて、通常業務に戻らせていただきますので

105. さっさとチンポを出してください

106. う・・何度見ても気持ち悪いチンポですね、見てるだけでも不快ですので手でパパッと抜いてしましましょう

107. え・・今日は手じゃなくて、口で奉仕しろ・・？

108. あなたのチンポを男の僕が口に含め・・ということですか？

109. ふふ、冗談にしても笑えないですね

110. あなたのその不潔なチンポを直接口に含んだりしたら、嘔吐してしまうかもしれません
んがそれでもいいですか？

111. く・・わかりましたよ

112. げほげほっ顔を近づけただけで、強烈なチンポの匂いが・・絶対昨日風呂に入っていないですね、本当不潔すぎる・・・

113. こんな汚い物を、僕に舐めさせて優越感に浸るんですね、そんなことでしか興奮を得られないなんて悲しい人

114. それじゃ、さっさと済ませちゃいましょう、あなたと長い時間一緒にいたくないので

115. じゅる・・んっじゅるちゅじゅりゅじゅりゅじゅ

116. はあ・・僕の口の中があなたの臭いチンポの味広がって気持ち悪い・・

117. ずっと口の中に入れてたら、本当に吐いてしまいそうなので、さっさとイッてください

118. じゅるちゅるじゅるちゅるじゅうるじゅる

119. はあ、それにしても汚い・・何日風呂に入らなかったらこんな臭いチンポになるんですか？

120. は・・？かり首のチンカスも舐めとって綺麗にしろ・・・？

121. 流石に冗談ですよ、あなたのカリ首にこびりついてるチンカスなんて舐めとったら病気になるてしまいますよ

122. わかりましたよ・・・うわ・・カリ首にチンカスがびっしり・・もしかして僕に舐めとらせる為にわざと、チンポを洗ってなかったんですか？本当にクソ気持ち悪い人ですねあなた

123. じゅるちゅじゅるじゅるじゅる、おえっ腐ったチーズみたいな味ですね・・こんな人間が舐めていい味じゃないですよ・・

124. じゅるちゅるちゅじゅるじゅぞぞぞぞ、んぶっ・えへえあ・・全部・・舐め取りましたよ・・・ほら・・えあーこれで満足ですか

125. は・・このチンカスを咀嚼して飲み込め・・・？

126. あなた・・いくら僕が逆らえないからって、そんな異常なこと本当にさせるんです

か・・・？このあなたの汚い腐ったチンカスを咀嚼して飲み込むなんて・・・

127.クソ・・・このことは一生忘れませんか

128.ほら・・・見てください僕の舌べろの上ののってる、あなたの汚い大量のチンカス・・・

129.お望みどおり、これを今から咀嚼して飲み干しますよ・・・

130.ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅんぶっゲホッゲホッ

131.あまりの気持ち悪さに咽せてしまいました

132.ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ

133.ごくごくくん

134.（できればゲップ）

135.はあはあ・・・おえっ・・・飲み干しましたよあなたの汚いチンカス全部・・・

136.あなたのその満足げな表情、すぐくムカつきます・・・

137.自分の命令に逆らえない相手に、チンカスを無理やり飲ませて征服欲が満たされてい
るんですか？

138.それは良かったですね、ではさっさと口での奉仕を再開させてしまいますね

139.僕は早く行為を終わらせて、トイレで嘔吐してしまいたいので

140.じゅるちゅずりゅつじゅるじゅるちゅず

141.さっきよりもチンポ硬くなってますね、僕にチンカス飲ませて興奮したんですね気持
ち悪い

142.じゅるちゅるじゅるちゅるじゅるちゅるじゅる

143.はあ・・・そろそろいきそうですねさっさといつてください、いい加減顎が疲れてきたの
で

144.え・・・シックスナイン・・・何を言ってるんですかあなたは、男同士でシックスナイン
なんてできるわけないでしょう

145.僕のチンポをあなたの口に・・・？は・・・？僕のチンポをしゃぶりたいんですか？あな
た、変態通り越して異常者ですよ、頭大丈夫ですか？

146.命令ならば、僕は従うしかないので

147.ほら・・・あなたの目の前に僕のチンポがありますよ、あとはあなたの好きな様にすれば
いいじゃないですか

148.んっ・・・本当に僕のチンポを咥えた・・・口の中が生暖かくて気持ち悪い・・・ただで
さえ男の人にチンポしゃぶられるなんて気持ちわるいの、よりによってあなたに・・・

149.わかってますよ僕もしゃぶればいいんでしょう、あなたの汚いチンポを・・・

150.んぶつじゅるちゅるじゅるゆるじゅるじゅるじゅる

151.はあ・・・こんな男同士でチンポをしゃぶるなんて異常なこと・・・こんなプレイで興奮
するなんて頭がどうかしてますよ、あなた

152.じゅるちゅるじゅるちゅずゅじゅるちゅる

153.んっ僕のチンポが美味しい？感想なんていわないでください気持ち悪い

154. はあもうさっさとイッてください

155. チンポをしゃぶるのも、しゃぶらせるのもただただ気持ち悪いんですよ

156. 同時に射精・・・調子に乗らないでください、あなたのフェラなんかで僕がイクわけないでしょう、イクなら一人で勝手にイってください

157. んぶっんぶっんぶっじゅるちゅるじゅるちゅるじゅる

158. イキそうなんですね、生憎ですが僕は全く気持ちよくないのでイきませんので一人でイッてください、ほら僕の口の中のでいいのでさっさとイッてください、びゅーびゅー

159. んぶっつっじゅるじゅるるんぶうっ

160. はあ・・・やっといってくれましたか、それにしても出しすぎですよ、あなたのくっさいザーメンが僕の口の中一杯で吐いてしまいそうです

161. ティツシュはないですか、口の中のザーメンをいち早く捨ててしまいたいの

162. は・・・このまま咀嚼して飲み込め？それは流石に無理ですよ、こんなにドロドロした、くっさい液体飲み込めるわけじゃないじゃないですか

163. 僕が射精しなかったことを根に持っているんですね、本当に性格が悪い

164. どうせあなたが命令を撤回なんてしないでしようし、もう諦めましたよ

165. それでは、飲みますねあなたのくっさい大量のザーメン、あなたは精々自分のザーメンが飲み込まれているところをみて興奮していればいいですよ

166. ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ

167. ごくごくごくごく

168. げえええ

169. うっおえっえっおえっ

170. ほおお・・・本当に吐いてしまいそうでしたよ・・・危なかった

171. 喉の奥まであなたのくっさいザーメンがこびりついて、僕の息まであなたのザーメンの匂いがして、本当に最悪の気分です

172. 男の僕にザーメンを飲ませて興奮しましたか？それは良かったですね

173. 僕はあなたにチンポをしゃぶられてただただ気持ち悪かったですけどね

174. それでは、僕は業務に戻りますね、お疲れ様でした

175. 歯磨きをしないでそのまま業務にもどれ・・・

176. 昨日に引き続きまたですか

177. どうせ業務中に僕が口からあなたのザーメンの匂いを発せさせて

178. 僕があなたの所有物だと周りの人たちに思わせたいんですよ？、それで僕を辱めたんですよ？

179. 生憎ですが、僕はそんなことじゃ全く動じませんので、それでは命令通りそのまま歯磨きせずに業務に戻ります、お疲れ様でした

180. 三章

181. (コンコン)

182. 失礼しますこんばんは、今日は気分が悪いのでいつも以上にささっと射精させて業務に戻らせて頂きます

183. なぜ気分がわるいのかですって？白々しい、あなたの不潔なチンカスト、ザーメンを大量に飲んでからに決まっているでしょう

184. 僕の体の内側からあなたのくっさいザーメンの匂いが充満していて、今日の業務は全然集中できなかったんですよ

185. なので、あなたのそのチンポをさっさと射精させて、残っている業務を型付けにいかなければならぬですよ、あなたと違って忙しいんです僕は

186. なんですか、その顔は・・・今日は僕に一体何をさせるつもりなんですか・・・

187. は・・・ケツの穴を舐めろ・・・？僕が、あなたの尻のアナを舐めるってことですか・・・？

188. 本当によくそんな気持ち悪いことが思いつきますね

189. たでさえ不潔なあなたのアナルを舐めるなんて、想像しただけで鳥肌が立ってしまいました

190. わかってますよ、僕はただの使用人ですから、どんな命令でも従わざるを得ません

191. それが、あなたみたいなど変態の命令であっても

192. それでは、さっさと股を開いてあなたの不潔なアナルを見せてください

193. あなたの望み通り、僕の舌で舐めますから

194. その前にチンポにローションを塗っておきますね

195. どの道射精しないとあなたは満足しないでしょうから、アナル舐めながら手コキするので早くイってください

196. 射精したら、僕はすぐ業務に戻るの

197. それでは、まずはあなたのチンポにローションを垂らしていきますね

198. (ローションの音)

199. 何度見てもきもちわるいチンポですね、同じ男とは思えません

200. はやくアナルを舐めろ？節操が無いですね、少しの我慢もできないんですかあなたは

201. わかりましたよ、それではアナルを舐めますので、股を開いてください

202. うっひどい匂いですね、チンポとはまた違った不快な匂い・・・息をただけで咽せてしまう様な、公衆便所の様な悪臭

203. よくこんな不潔なアナルで平然と日常生活を送れますね、僕だったらとても真似できませんよ

204. わかってますよ、今からその不潔なアナルを僕が舐めて綺麗にするんですよ

205. チンポを手でしごかれながら、アナルを舐められるなんて変態のあなたからしたらたまらないプレイでしょうが、僕は最悪の気分なのでさっさと射精して満足してくださいね

206. (手コキ音)

207. うわ、もうチンポガチガチじゃ無いですか、気持ち悪い

208. 我慢汁もたらだら垂らして、僕にアナルナメられるの想像して興奮してるんですか？
きもちわるい

209. お願いですから、このまま射精してくれませんか？あなたの不潔なアナルを舐める
の想像しただけで吐きそうなんです

210. わかりましたよ、それではあなたのアナル、チンポをしごきながら舐めていきますね
211. う・・・

212. 顔を近づけただけで、鼻につんとくる刺激臭・・・本当にこれを舐めるのですね

213. ひゅる、じゅるちゅるじゅる

214. うっげほげほっ不味い・・・ゲロみたいな味だ・・・こんなずっと舐めさせられたら頭が
おかしくなってしまうそうです

215. じゅるちゅるじゅるちゅるじゅるちゅる

216. うえっはあはあ・・・あからさまにチンポ硬くして・・・僕にアナル舐めさせて興奮して
るんですね、最低な人・・・

217. (アナル舐めながら)

218. んぶるっじゅるはあほら、さっさと射精してください、んぶっじゅるちゅるはああなたの
アナル僕の涎まみれでぐちよぐちよで気持ち悪いですよじゅるちゅるじゅる

219. はあはあ、中々射精しませんね、この不潔チンポは・・・

220. え、舌をアナルの中に入れて、アナルの中の隅々まで舌で綺麗にしろ・・・？

221. 何を意言ってるんですか、あなたは、アナルの表面を舐めるだけでも臭くて限界なのに、
アナルの中に舌を入れるなんてそんな気持ち悪いことできるわけ・・・

222. っ・・・命令ですね、わかりましたよ

223. それでは舌をアナルの中に入れるので、アナルの力を抜いてください

224. 男の僕が男の尻を舐めるなんて、こんなこと・・・あなた・・・いつか絶対後悔させてやり
ますからね

225. んっ、じゅるちゅじゅるちゅじゅるじゅる

226. おえっえっゲホゲホっアナルの表面よりも味が濃くて気持ちが悪い・・・

227. 僕の口いっぱい、あなたのゲロの様なアナルの味が広がって・・・早くトイレにかけ
こみたい気分ですよ

228. あなたは気持ちよさそうですね、アナルに男の舌入れられて感じるなんて、どうしよう
もない変態ですね

229. でも、あなたのチンポもうイきそうですね、最後にもう一回だけ、アナル舐めるので
230. それでさっさと射精してください、いきますよ

231. じゅるちゅるじゅるちゅりゅずじゅる、ほらいってください、我慢とかしないでいいで
すから、じゅるちゅるじゅるちゅるじゅる、ほらびゅーびゅーびゅーじゅるちゅる

232. んっ、はぁーはぁーやっ射精しましたね、いつもよりざーめんが多い、アナルナメラ
れて興奮したんですね、きもちわるい

233. それでは、今晚の性処理は終わりましたので、僕は通常業務に戻ります

234. わかってますよ、風呂に入らず、そのまま通常業務にもどればいいのでしょ

235. 本当に悪趣味な変態ですねあなたは

236. それでは・・・また明日

237.

238. 四章

239. (コンコン)

240. 失礼します、一体今日はどんな風のふきまわしですか

241. いつものメイド服ではなく、こんな衣装を着てこいだなんて・・・

242. 乳首もアナルも丸見えのエロ衣装・・・殆ど紐のようなこんな情婦が着るような衣装を僕に着させて・・・男の僕にこんなエロ衣装を着させて、楽しいですか？

243. どこまでも、変態ですねあなたは、こんなエロ衣装を着させて一体僕に何をさせるつもりですか？まあ大体察しはつきますが

244. あなたのチンポを僕のアナルに入れる？やっぱりですか・・・そんな予感是一直だったのですが、まさか本当にそんなこと・・・

245. 男同士でsexなんて気が触れているとしか思えません、そんな異常なことをよりによってあなたとなんて・・・考えただけで鳥肌が立ちます

246. わかっていますよ、命令ならば使用人の僕は従うしかありません、たとえそれがどんなに異常な要求であっても

247. だから、あなたの不潔なそのチンポを僕のアナルにいれても僕は逆らうことはできません

248. 行為をする前に、アナルを洗淨しないといけないので、トイレで浣腸をします

249. は、あなたが僕に浣腸を・・・？く、あなたに浣腸をさせられるなんて、屈辱的な・・・

250. わかりましたよ、さっさとお願いしますね

251. この容器を、僕のアナルに差し込んで、中の液体を僕のアナルの中に注入するだけです
252. ほら、四つん這いになりましたのでさっさと入れてください、こんな恥ずかしいポーズであなたにアナルをまじまじ見られているだけで不快です

253. んっぐっはあはあ、アナルに液体を注入されているこの感覚・・・異物が入り込んでいくような・・・きもちわるい・・・

254. 全部、アナルにはいりましたか？それでは、トイレで排泄してきます・・・

255. は、限界までここで我慢しろ？く・・・排泄を我慢する僕を間近で見物して悦に浸るというわけですか、なんて悪趣味な

256. うっ・・・お腹がぐるぐるして、下痢のみたいになってきました

257. うう、お腹の中がゴロゴロなっていて、少しお尻の力を緩めたら勢いよく排泄してしまいうそです

258. そろそろ、本当にトイレに行かないと・・・大変ことに・・・く・・・わかりましたよ・・・

259. ご主人様・・・お願いです・・・僕をトイレに行く許可をください・・・ませ

260. ・ありがとうございます・・・

261. (ボタン ドアが閉まる音)

262. (トイレの音)

263. (時間が立って ドアが開くおと)

264. ふう・・・限界まで排泄を我慢させるなんて、何を考えてるんですかあなたは

265. あと少しで本当に漏れていたところでしたよ・・・

266. お陰様で、僕のアナルは綺麗に洗浄されたので、あとはあなたの好きなように煮るなり焼くなり好きにしてください

267. 僕があなたのチンポの上に跨って、腰をふれ？

268. 自分はまったく動かず、僕に腰を振らせてセックスさせるなんて、いいご身分ですね

269. どうせ僕があなたのチンポをいれて一生懸命腰を振っている姿をみて楽しみたいのでしょう、浅ましいあなたの考えていることなんてお見通しですよ

270. それでは、さっさと済ませたいので早速始めてしまいます、アナルとあなたのチンポにローションを塗って・・・

271. (ローション塗る音)

272. はい、では入れますね、淡々としすぎていて業務的なのが気になりますか？でも実際業務ですので

273. 恋人同士のようなセックスなんて期待しないでください、使用人とのsexなんて全自動のオナホールを使っているようなものだと思ってください

274. 僕はただ、あなたを射精させる為だけの道具、あなたに対して愛情なんて一ミリもないのですから当然でしょう

275. なので、さっさと射精してくださいね

276. それでは、僕のアナルにあなたのチンポを挿入します

277. んっ・・・入った・・・浣腸をされた時の数倍の異物感・・・っ

278. ぐ・・・っう・・・まるで排泄をしているかのような違和感・・・気持ち悪い・・・

279. 男の僕の尻にチンポを入れて気持ちいいですか？どこまで変態なんですかあなたは

280. 僕はただただ不快なだけですけどね

281. それでは、動きますのでさっさと気持ちよくなって射精してください

282. (ゆっくりめなピストン音)

283. んうっぐっ・・・あなたのチンポが出たり入ったり・・・まるで本当に排泄をしているような感覚です・・・

284. 初めてに決まっているでしょう、アナルにチンポをいれるなんてこんな変態のようなこと・・・

285. あなたのチンポによって僕のアナルが広げられていっているこの感覚、とても不快です・・・

286. あなたのチンポの形に僕のアナルが書き換えられているような・・・あなたみたいな不潔で低俗な人間に・・・

287. んうっぐっはあはあ、いきなり腰を突き上げないでください発情しているんですか？

まるで犬ですね、んうっ・・・奥を突かれると・・・身体全身の力が抜けてしまうような、鈍い快感がお腹の下あたりにズンズン響く・・・

288. 気持ちいいわけじゃないでしょう、ただ、不思議な感覚ってだけです

289. 男の僕がチンポをいれられて気持ちいいなんてことそんな変態みたいなことあるわけ
ないです

290. 僕のチンポから我慢汁が・・・？こ・これはアナルにチンポをいれられたことによる生
理現象です

291. あなたのチンポなんかで僕が気持ち良くなるわけじゃないでしょう

292. ほら、くだらないこと言っていないでさっさと射精してください

293. 僕はこの後も業務なんですから、こんなところで体力を使っていられないんですよ

294. んうっんっ、はぁ・・・

295. 僕のお尻が気持ちいいんですか？オチンポが膨張して息が荒くなってきましたよ？

296. まああなたがいきそうでも、僕は腰を振るのを緩めませんか？

297. んうぐうっふう

298. また奥・・・っそこ突かれると、腰に力が・・・入らなくなる・・・

299. 僕をイかせたいんですか？チンポも触られてないのに、イクわけじゃないですか

300. アナルを突かれただけで射精するなんて、そんな変態みたいな事ありえないです、おめ
でたい脳内ですね

301. んうっぐっはぁ・・・もういきそうなんですわ、わかりますよ

302. でも僕は・・・んっはぁ・・・全然いきそうにないので勝手に一人で虚しく射精してくださ
い

303. んうっぐぐっだから・・・奥は・・・つかないでくださいって何度言ったら・・・あわかるん
ですか・・・

304. お腹の下をズンズンと突かれると、チンポから勝手に液が・・・

305. もう・・・いい加減に・・・っイッてください

306. ほら、あなたの低俗なザーメンを僕のアナルに情けなく射精してください

307. 命令に逆らえない、男の娘メイドアナルをオナホ代わりにびゅーびゅー射精すればい
いじゃないですか

308. (近づく 右)

309. ほらびゅーびゅーびゅービュー

310. んぐっううっんっうっ

311. おおっおっ・・・あなたの汚いザーメンが僕のアナルの中に・・・い

312. 生暖かくてドロドロしたのが僕のアナルの中いっぱい・・・きもちわるい・・・

313. ぐ・・・どれだけ僕の中に射精するんですか・・・まるで小便みたいにビュルビュルビュ
ルビュルと・・・僕は便器じゃないんですよ・・・っ

314. あぁ・・・んっ僕のチンポから透明な液体が勝手に・・・おしっこみたいに出てる・・・っどう
して・・・っ

315. これが、ドライオーガズム・・・？そんなことあるわけじゃないでしょう、あなたのチンポな

んかで僕がオーガズムに達するなんて、そんな変態で屈辱的なこと

316. んうっ、くそ・・・早く・・・止まって・・・

317. これは・・・ただの小便・・・アナルに中出しされて、びっくりして粗相をしてしまっただけです

318. 射精が終わったようですので、僕は通常業務に戻らせていただきますね

319. く・・・腰に力が入らない・・・

320. 最後に、僕のアナルの中に入っている、ザーメンをひりだしてからいけ？

321. 最後の最後まで、あなたはきもちわるい要求ばかり・・・

322. く・・・わかりましたよ、

323. んぐっうんうっんうっうっはあはあ

324. はい・・・あなたの不潔なザーメン全部ひりだしてあげましたよ、これで満足ですか

325. そうですか、それは良かったですね

326. それでは、僕は業務に・・・んっ戻ります

327. また明日よろしくお願いします

328. エピローグ

329. (コンコン)

330. 失礼します、今晚の性処理に伺いました

331. 早いもので、もう一か月ですか

332. 一か月たっても、僕はあなたのことが大嫌いのままですけどね

333. 不潔で変態で、毎日無茶なプレイを逆らえない僕に要求して

334. そんなあなたを好きになるわけないでしょう、馬鹿なんですか？

335. でもまあ・・・あなたのことは大嫌いでも、あなたのチンポだけは別かもしれませんね

336. それでは、今日も僕のこの男の娘アナルであなただけのその不潔なチンポをしごいてあげます

337. 今日は、通常業務のほうは全部終わらせてきたので・・・

338. まあ・・・ある程度の時間は変態なあなたの性処理に付き合っただけですよ

339. それでは・・・んっ今日もさっさとたくさん中に射精してくださいね・・・

340. (右 近づく)

341. 変態ご主人様・・・

